

「IT 利活用の賢い進め方とは」
IT 利活用促進事業費補助金 公募説明会 実施報告（抄）

開催日：2017年5月22日（月）13:30～16:30

場 所：北海道経済センター 8階 Bホール

主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌商工会議所

参加者：93社 110名

プログラムと内容概略（以下、敬称略）

1 開式挨拶



一般財団法人さっぽろ産業振興財団 事業本部長 田中 俊成

2 「IT 利活用の賢い進め方とは」～専門家(IT コーディネータ)を上手に活用しよう～



北海道 IT コーディネータ協議会 会長/IT コーディネータ 阿部 裕樹

○中小企業の経営課題

やるべきことは多いため、何を優先的にすればよいのか？

- ・人手不足の中で良い人材を確保したい
- ・売上げを確保し、賃金も利益も確保する経営を目指す必要あり
→「労働生産性の向上」が求められる

○労働生産性を上げる2つの方法

- ・「効率」の向上・・・時間や工程の短縮（コスト短縮）
→プロセスの改善
- ・「付加価値」の向上・・・提供する製品・サービスの価値を増大させる（売上向上）
→顧客・商圏の拡大、価値や品質の見える化、ブランド力の強化、満足度アップ
→どちらの向上にも「IT 利活用」は欠かせない

○中小企業のIT投資→バランスよく行うことが大事である。

→戦略性の強い課題の解決ほど、IT利活用は「自前で用意」しないと差別化できない

○IT投資については、経営とITの専門家=ITコーディネータが支援可能

○IT経営とは？

戦略に基づいた、ITの利活用による経営変革

・経営者の思いを伝え組織を動かす

自ら動き、戦略の実現にコミットする事が重要→具体性・客観性を欠いた「思い」は伝わらない。

→「外部の専門家」を巻き込むのが効果的

環境変化に敏感になる

・インターネット、スマホ・タブレット、クラウド→導入にかかるコストは飛躍的に減少している

→導入することで「新たな価値創出によるイノベーションにつながる可能性」

→常にIT導入を念頭に入れる

戦略と実行を合わせる

・ビジョンと目標の整合性を常に確認しながら進める

全体視点で考える

・部分最適化がゴールではなく、全体を見ながら進める

持続的な成長を目指す

・「身の丈に合った」IT経営

提供価値を問い続ける

・IT利活用→イノベーション・業務改革→新たな価値を創造しているか

○価値創造にITのちからは必須

→ITコーディネータを上手に活用して、自社の生産性向上につなげてほしい。

3 補助金活用事例紹介

① 株式会社 サン格林太陽園<卸売業/農業関連>



株式会社 サン格林太陽園 経営企画室 課長代理 白川 努

【事業背景】

・取り巻く環境は厳しさを増している（農業従事者の減少、耕作放棄地の増加、農業構造改革）

【自社の課題と対策】

・今まで培ってきた情報を蓄積できていない

・担当者の経験に頼る部分が多く、機会損失に繋がっている

・ビニールハウスの台帳管理が出来ていなかった

→IT導入により

・業務の効率化・高品質化

- ・現場でよりきめ細かい提案
- ・いつでもどこでも状況共有化
→現場からは、意味がないとの声もあったが「やってみる」という気持ちで取り組んだ。

【システム概要】

ビニールハウスの台帳管理システムの構築

【導入後の変化】

- ・必要な項目の入力だけで見積書・発注書・納品書を自動作成→作業時間の削減・品質向上
- ・タブレット端末で顧客とイメージ画面を共有できる仕組み構築→キメ細かい提案
- ・タブレット端末でハウス情報、発注情報など共有でき、情報活用の幅が広がった
→販売機会損失の低減

【補助金に対して】

- ・システム構築にかかる費用の半分の補助され、非常に助かった。
- ・この補助金を活用し、自社の課題解決に役立ててほしい。

② 株式会社日本防災技術センター<建設サービス業/ビルメンテナンス関連>



株式会社日本防災技術センター 業務企画部 主任 林 竜嗣

【事業背景】

- ・業界通じ、コモディティ化しており、高原価低利益の状況

【自社の課題と対策】

- ・点検品質面：人依存の点検管理（労力かかる）
→IT化の時流に乗り遅れており、システム導入による品質向上を目指す
- ・営業活動面：旧来型の営業アプローチ（人員リソースに依存）
→IT化によって、他社と差別化を図り、優位性をアピールし販路拡大へ

【システム概要】

消防用設備点検管理 Web システム構築

【効果】

- ・最小限の入力で、提出書類の作成が可能に→効率的な業務運営の実現
- ・報告書類作成→提出までの時間短縮→点検品質の向上

【今後の展開】

- ・消防用設備点検に留まらない、他業務の管理システムへの拡張を目指す
- ・システムに蓄積した顧客データからニーズを分析し、提案へ
- ・本システムを他社にも利用してもらい、利用料徴収のビジネスモデル構築を検討する

4 「IT 利活用促進事業費補助金について」

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 情報産業振興部 事業推進係長 山下 幸修

1 平成 28 年度採択 3 社の活用事例説明

- ・各社の活用事例から見えること→自社の経営課題（壁）を正しく認識すること、
その上で解決→壁を超える

2 目的・概要

・ 条件と対象

自社の経営戦略の実現、経営課題の解決、経営目標の改善や達成のために IT を利活用

申請対象：札幌市内に本社がある中小企業（または企業グループ）

補助対象：IT 利活用に直接的に係わる経費支出（設備備品費+事業費）

発注先：札幌市内に本社がある中小 IT 企業

・ 応募に必要なもの

申請書（どのような IT システムを導入して、どう利活用し、経営課題を解決するのか、システムや機器の構成図、想定している利用方法、経営課題や指標の改善効果について、具体的な数値目標を示しながら、IT 投資の効果や Before と After とを対比させて課題を解決して成功に向かうストーリーを描く）

見積書（消費税の課税前の本体価格ベースで申請）

登記簿謄本、直近の決算書、納税証明書

自己資金の調達（補助金以外）

・ 審査

書類審査＋追加審査を実施（8月28日実施予定／該当者のみ）。

・ 本補助金に向けた支援

① 補助金申請を前提とした IT コーディネータ派遣を 5/15～7/21 の期間限定で実施。

あるべき IT 利活用の姿を明確化すべく、経営と IT 技術の両面に強い IT コーディネータを派遣（1回2時間程度、最大3回まで。初回は無料、2回目以降申請者の一部負担あり）。

詳細は、右記参照⇒<http://www.sec.or.jp/elecen/it-business4.html>

② 補助金申請に関する全般的な相談

→札幌市エレクトロニクスセンター（電話：011-807-6000）まで

・ 経営革新・課題解決に札幌地場の IT 企業とコラボしてほしい

「IT 利活用」という形での札幌の企業間での協業を推進する思いがある。

・ 公募要項・申請書類は右記参照⇒<http://www.sec.or.jp/elecen/it-business.html>

<公募説明会の模様>



5 個別相談及び総括



セミナー終了後、個別相談（希望のあった11社）を実施致しました。

主な相談内容については、事業内容が補助対象事業となるか、自社は補助申請が可能か、発注先（市内IT企業）の条件の確認や調達方法などでした。それと併せて、「この補助金申請を目的としたITコーディネータの無料派遣についても興味を示す企業が多く、個別相談に来られた企業さんやアンケートの回答などにより5社から派遣希望が出ている状況です。

皆様のビジネスに効果のある素晴らしい利活用事例が本補助金をきっかけに生まれることを期待しております。

以上